

高等研公開講演会

テーマ

核なき世界を生きる

～トリウム原子力～

日時

2010年2月20日(土)

14:00～16:00(開場:13:30)

講師

亀井 敬史 氏

(京大大学生存基盤科学研究ユニット 助教)



雪の国際高等研究所



春待ち山茶花

会場

国際高等研究所 レクチャーホール

●対象：高校生以上 ●入場：無料 ●定員：150名

- ★講演会ご参加には、事前申込の必要はありません。
- ★定員を超えた場合、TVモニターでご覧になっていただく場合があります。
- ★駐車場をご用意しています。係りの指示に従ってご駐車ください。
- ★公共交通機関ご利用の場合 けいはんな記念公園バス下車 南へ徒歩5分
祝園駅(奈良交通バス 36.47 系統) [13時09分, 20分, 39分] 発→けいはんな記念公園バス停 下車
学研奈良登美ヶ丘駅(奈良交通バス 47 系統) [13時06分, 36分] 発→けいはんな記念公園バス停 下車

問合せ先

〒619-0225 京都府木津川市木津川台9丁目3番地 (財)国際高等研究所「亀井講演会」係
TEL:0774-73-4000 FAX:0774-73-4005 E-mail:www_admin@iias.or.jp

核なき世界を生きる ～トリウム原子力～

● 講師 **亀井 敬史 氏** 京大大学生存基盤科学研究ユニット 助教



持続可能な社会構築の中心に位置するトリウム原子力

● 講演要旨

持続可能な社会の実現には、温暖化への対応ばかりではなく途上国の支援やエネルギーの確保といった問題も解決していかなければなりません。その大きな課題の一つに核兵器の廃絶があります。

原子力は温暖化の防止に一役買います。しかし核兵器の拡散も懸念されます。また百万年近く管理が必要な放射性廃棄物も負担となります。トリウムの利用はこれらの課題を克服する可能性があります。ウランの原子力に加えてトリウムを利用することでプルトニウムを消滅させることができます。途上国で原子力を利用する際の核兵器拡散の恐れをなくします。トリウムからも放射性廃棄物は生まれますが管理期間は数百年に短縮されます。

トリウムは中国やアメリカなど世界中で関心が高まっています。火力発電からトリウム原子力に、ガソリン自動車から電気自動車に移行する橋渡しになります。電気自動車に不可欠な希土類と一緒にトリウムが得られるからです。「核なき世界」を訴えたオバマ大統領はノーベル平和賞を受賞しました。未来を拓くトリウム原子力について一緒に考えてみませんか。

専門
原子力工学
エネルギーシステム設計・評価

著書
混相流計測法(共著)
エネルギーの外部性と原子力(編)



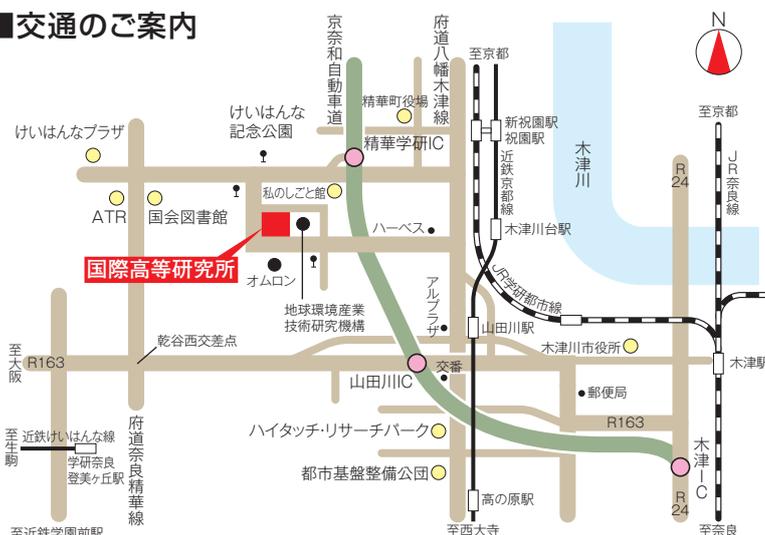
略歴

- 1970年 大阪府で生まれる
- 1994年 京都大学工学部原子核工学科卒業
- 1999年 京都大学大学院工学研究科博士課程認定退学(工学博士)
- 1999年～2003年 天理大学非常勤講師
- 2002年～2006年 ローム株式会社
- 2006年～現職



トリウム原子力と電気自動車産業

交通のご案内



● 鉄道ご利用の場合

- ◎近鉄京都線:新祝園(しんほうその)駅※急行停車
JR学研都市線:祝園(ほうその)駅下車、タクシーにて7分。
又は奈良交通バス「光台循環内回り」「学研奈良登美ヶ丘駅行」にて「けいはんな記念公園」下車、南へ徒歩5分。
- ◎近鉄京都線:山田川駅※普通のみ停車
下車、タクシーにて7分。又は奈良交通バス「木津川台住宅行」にて終点下車、西へ徒歩5分。
- ◎けいはんな線:学研奈良登美ヶ丘駅下車、
奈良交通バス「祝園駅行」にて「けいはんな記念公園」下車、南へ徒歩5分。

●奈良交通バス 時刻/料金お問い合わせ
奈良交通テレフォンセンター TEL.0742-20-3100

● お車ご利用の場合 (駐車場有ります)

- ◎京都方面より
京奈和自動車道「精華学研IC」を出て右折、
精華大通りを西へ1km、T字路を左折200m
- ◎奈良方面より
R163より府道八幡木津線北上、近鉄木津川台住宅地前交差点
左折(左折車線あり)約2km直進